



北浦小だより

令和2年9月28日

(HP) <http://www2.sopia.or.jp/kitaurael/>

Hop Step Jump

ホップ・ステップ・ジャンプ

第22号

文責:校長 武田 民弥

運動会が終わり、次のステップは**本校の重点課題**への対応 「**自分に自信がもてる北浦地区の児童の育成**」へ

運動会が終わり、学校の教育活動は折り返しとなり後半に入っていきます。10月～12月は、過ごしやすい季節となり、学校生活の基本である授業に一生懸命に取り組んでいてもらいたいと考えています。今年度も学習面の目標は、「児童が自分の思いや考えを表現できる力の育成」です。授業の充実と「北浦タイム」によるこれまでの学習の学び直しに、今まで以上に取り組んでいきます。

授業の中で、「自分の思いや考えをノートに書き、それをペアやグループで話し合い、まとめ・振り返る」(北浦小授業スタイル)をより推進していきたいと思えます。学年によって、字数制限や漢字で書く等の条件を付けたまとめや振り返りも行っています。そうした取組を継続していくことで、児童は自分の思いや考えを自信をもって表現(発表)できるようになっていくと思えます。



私が上述した「北浦小授業授業スタイル」

を推進するのは、児童一人一人の学力向上の推進もありますが、『かしまった場でも自分の思いや考えを胸を張って述べられる力』を北浦地区の子供たちに身に付けさせたいという思いが強いからです。北浦地区の子供たちに、「自分の思いや考えを自信をもって発言できる力」をつけていくことが本校の使命だと常に考えています。



私は、「自分の思いや考えを自信をもって表現できる授業スタイル」が本校に定着し、時代の流れを受け入れながらも受け継がれ、北浦地区の子供たちが自分に自信がもてるようになっていてもらいたいと考えています。

そのために、10月以降、多くの授業研修や訪問指導に取り組んでまいります。保護者の皆様にも11月26日に予定しています授業参観・学習発表等へ御参加いただけまうよう、家庭での感染予防等にも御理解・御協力をお願いいたします。

「**あきらめる前にできる限りのことを模索し、挑戦してみる**」そんな教育者でいたい!

県内コロナ対策ステージは現在2ですが、周辺の都県状況では、終息に向かっていかない現状です。しばらくは感染症予防をしながら活動を行っていく時期が続くそうです。

自分の好きな言葉・自分を元気づける言葉に「『できない』であきらめず『どこまでできるか』を考える」があります。現在置かれている学校教育の在り方をよく表しているように思います。感染を恐れて、全てやめてしまうことは簡単です。それが安全ですし、批判されることもありません。しかし、それで教育は成り立つのでしょうか。教育者である以上、「あきらめる」前にできる限りのことを模索し挑戦してみるべきだと私は考えます。それでやれるだけのことをやってみてから、

どうしてもだめならあきらめれば良いと思っています。先日の運動会もやらないことが一番安全でした。しかし、児童・先生方・PTA役員・保護者の皆さんがアイデアを出し合ったからこそ、制限された中でも実施でき、これまでと変わらない達成感も味わうことができたのだと思います。



これからも多くの学校行事が予定されています。形は今までとは違うかもしれませんが、児童の成長のために「できること」を考えていきたいです。苦しい中ですが、児童・保護者・地域の皆様の方や知恵をお借りしながら、模索を続けていきたいと思えます。



学校評価・運動会アンケートへ御協力ありがとうございます。

一年の折り返しとなるこの時期に、保護者の皆様をはじめ、児童・職員へ「第1回学校評価アンケート」を行わせていただきます。アンケート結果は集計し、後日、御報告させていただきます。また、運動会アンケートは開催時期等の見直しと効率的な運動会運営を図るために実施させていただくための参考とさせていただきます。

お忙しい中ですが、御理解・御協力をお願いいたします。

